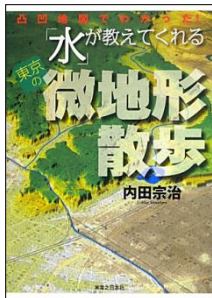


アーカイブス 通信

新着図書

新着図書の中からおすすめをご紹介します。



「水」が教えてくれる 東京の微地形散歩

内田宗治/実業之日本社 2013年5月発行

本書は東京の地形と、それを人々がどう利用してきたのかを、標高差がわかりやすいカラーの凸凹地図や鳥瞰図を使って解説していき、同時に散歩を楽しんでくれる1冊です。川とその支流が刻んだ谷と丘に注目すると、水が作ったまったく新しい東京の歴史が見えてきます。

東京の歴史は水の歴史！？



向島百花園のスーパーレディー代記 花も盛りの88歳!

佐原洋子/メディアファクトリー 2014年5月発行

江戸の粋な風情を残す向島百花園。この庭園を開いた初代佐原鞠場から数えて、5代目の長女にあたる佐原洋子氏の、花と人情に包まれて育ち、戦争、高度経済成長、平成と激動の時代を生きてきた一代記です。

これを読めば人生の楽しみ方を学べるとともに、向島百花園が一層好きになること間違いありません。



光が丘公園

山下博史/公益財団法人東京都公園協会 2014年9月発行

光が丘公園は都内有数の大住宅団地に隣接し、レクリエーションの場を提供するとともに、バードサンクチュアリ等も有する都立公園です。開園は昭和56年ですが、最初に計画されたのは戦前に遡ります。その計画から開園、そして現在に至る歴史や各施設に関するエピソード等、光が丘公園のすべてが詰まった他にはない1冊です。



多摩丘陵5公園 生きものたちの歳時記

公益財団法人東京都公園協会 2014年3月発行

多摩丘陵地の貴重な自然、里山環境を残している桜ヶ丘公園、小山内裏公園、小山田緑地、長沼公園、平山城址公園の自然と生きものたちの歳時記です。これら公園の自然、里山環境保全および利用の取組を紹介し、動植物だけでなく公園そのものの価値がわかる1冊です。

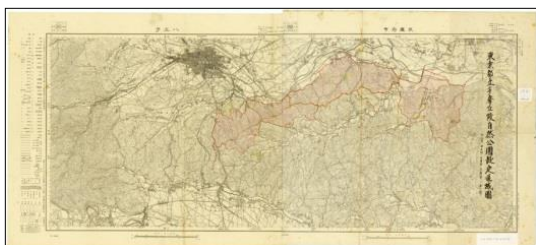
所蔵資料展示コーナー

所蔵している貴重な資料の一部を特別公開しています。

公園の拡大と丘陵地公園 平成26年 8月5日(火) ~ 11月1日(土)

東京都では昭和20年代後半に丘陵地や奥多摩などが自然公園に指定されました。しかし宅地開発等の波は止まることがなく、自然公園の制度だけでは、その自然を維持できなくなりました。そこで東京都は無秩序な宅地開発等から丘陵地の自然を守るため、自然公園の核となる場所に新たな都市公園を設けました。現在では丘陵地の自然や里山風景が残る公園として愛され続けています。

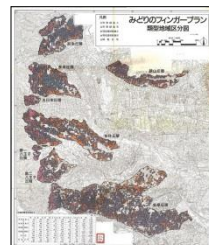
これら丘陵地の公園について書かれた書籍、図面等、通常直接見るできない資料を特別公開しています。



多摩丘陵自然公園設定区域図
昭和25(1950)年



狭山公園 (リーフレット)
昭和12年頃



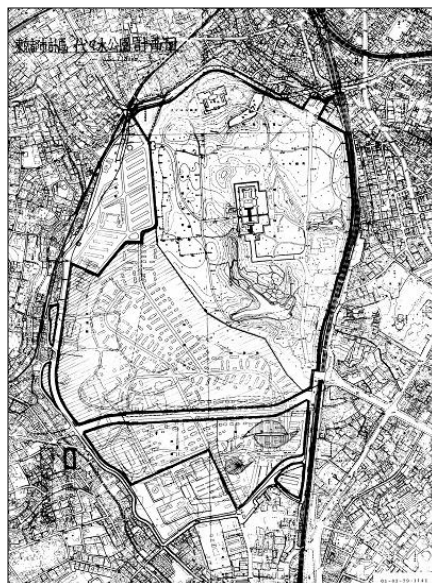
みどりのフィンガープラン
類型地域区分図
昭和63(1988)年

『東京都市計画 代々木公園計画図』昭和40年頃

平成26年6月に東京都立都市公園の開園面積が2,000haに達しました。太政官布達により東京に公園が誕生して以来、様々な土地が公園へと変化を遂げました。

代々木公園の地はかつて太平洋戦争終結まで陸軍の練兵場であり、その後アメリカ軍に接收され米軍宿舎ワシントンハイツが建てられました。その後、昭和39(1964)年の東京オリンピック開催にあたり返還されました。東京オリンピックの際にはワシントンハイツ時代の施設をほぼそのまま活用した選手村となりました。そして森林公園へと整備され昭和42(1967)年に代々木公園が開園しました。

本図はワシントンハイツの平面図の上に代々木公園の計画および国立代々木競技場などを重ねた図面で昭和40年頃のものとして推定されます。



レファレンス事例

こんなご相談にも乗っています。お気軽におたずね下さい。

Q. 葛西臨海公園ができた経緯を知りたい。

A. 昭和60(1985)年からの「葛西沖開発土地地区画整理事業」により海を埋立造成した土地に整備され、平成元年に開園しました。

現在では鳥類園、人工渚など動物に貴重な生息空間を提供するとともに来園者のレクリエーションの場となっています。

紹介資料：清水政雄『葛西臨海の公園と水族園』(東京都公園協会/1996年)

『今よみがえる葛西沖 東京都市計画事業 葛西沖開発土地地区画整理事業誌』(東京都/1995年)



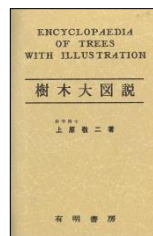
Q. アケボノスギ(メタセコイア)の命名者とその由来を知りたい。

A. 一説ではカリフォルニア大学のチェイニー博士が名付けた英名「Dawn Redwood」を木村陽二郎博士が日本語訳し、「曙杉」と命名したとされています。

メタセコイアという名は三木茂博士によりセコイアに「後の、変わった」という意味の接頭語である「メタ」をつけて『メタセコイア』と命名されました。

紹介図書：上原敬二 著『樹木大図説 1』(有明書房/1985年)

上原敬二 著『スギ・ヒノキの博物学』(大日本山学会/1989年)



Q. サンゴジュが防火に役立つと聞いたが、なぜか。

A. 常緑樹で水分を多く含む厚い葉や枝をもっているため耐火性があります。

古来「防火せの樹」と呼ばれ、防火、防風のために建物の周囲に植えられてきました。

紹介図書：矢口行雄 著『樹木医が教える緑化樹木事典』(誠文堂新光社/2009年)



■開館時間 : 9:00 ~ 17:00

■休館日 : 日曜・祝日・年末年始(12月29日~1月3日)

■複写 : 有料

■資料検索 : インターネットからも検索可能

<http://www.tokyo-park.or.jp/college/archives/>

グリーンアーカイブス 検索

■データ貸出: 図面・写真・絵はがき等の資料の画像データ貸出についての申請方法は図書館職員までお問合せください

〒100-0012 千代田区日比谷公園1-5 緑と水の市民カレッジ2階
TEL 03-5532-1347

- ・東京外丸ノ内線、千代田線、日比谷線「霞ヶ関」駅下車 徒歩3分
- ・都営地下鉄三田線「内幸町」駅下車 徒歩5分
- ・JR山手線「有楽町」駅下車 徒歩15分